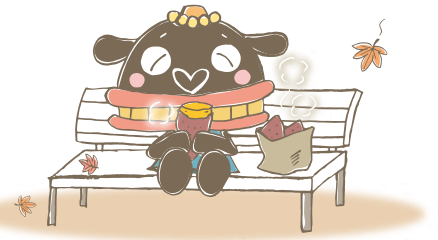


おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク



2019年10月号

【特集】ボランティアの力を次世代へ…… 2～3
つどいのひろば&

わいわいステーションinキャッセン…………… 4

みんなの支えあい傘…………… 4

敬老会開催事業…………… 5

みんなで一緒に学ぼう会…………… 5

お知らせ…………… 6～7

輝き人…………… 8



今月の表紙

いとう たか ふみ かず み
伊東 崇文さん・一美さん
るか やまと
瑠華ちゃん(5歳) 大和くん(2歳)



ボランティアの力を 次世代へ

— ボランティア活動センター運営事業 —



○ボランティアセンターとは

社会福祉協議会では、「大船渡市ボランティア活動センター」を設置し、市民の生活を支援するため、ボランティアを依頼する人、活動をしたい人とのコーディネートを行っています。また、ボランティア活動や市民活動に関する相談や情報提供、活動先の紹介を行っています。

○ボランティア人材の育成

市内のボランティア活動者数は、年々減少傾向にあります。理由としては少子高齢化や後継者不足、ボランティア人材になりうる人たちの再雇用などによる就労期間の延長などが挙げられます。

地域の中での困りごとを「我が事」として捉え、人や資源が「丸ごと」つながり、地域課題の解決へ取り組む仕組みづくりである「地域共生社会」を実現するためには、ボランティアの力は必要不可欠となっています。

社会福祉協議会では、市民がボランティア活動へ一歩踏み出す機会として、各種ボランティア養成講座やボランティア出前講座を実施しています。学校や地域からの依頼に随時対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

○ボランティア体験inいわて

この事業は、多世代が自分たちの住む地域への理解・関心を深めながら、ボランティア活動の意義を学び、継続的に参加するきっかけ作りとして、岩手県社会福祉協議会が実施しています。

大船渡市社会福祉協議会では、児童・生徒がボランティアを体験し、福祉への関心が育まれることを願って、夏休み期間に体験できる内容で実施しました。今年度は延べ15人が、子どもと関わるイベントや点字体験、献血の呼びかけなどを体験しました。

令和元年度
社会福祉協議会で開催するボランティア養成講座

傾聴ボランティア養成講座	10月17・24・31日 (いずれも木曜日) 19:00~21:00、全3回 大船渡市総合福祉センター 休養室
点字教室	10月18・25日、 11月1・8・15日(いずれも金曜日) 19:00~21:00、全5回 大船渡市総合福祉センター 学習室・図書室
手話教室	11月6・13・20・27日 (いずれも水曜日) 19:00~21:00、全4回 シーパル大船渡 小会議室A
音声訳教室	11月12・19・26日 (いずれも火曜日) 19:00~21:00、全3回 大船渡市総合福祉センター 図書室
声の福祉図書館 運営ボランティア 養成講座	11月21日(木) 13:30~15:00 大船渡市総合福祉センター 休養室
災害ボランティア 養成講座	12月開催予定
子育て支援ボランティア 養成講座	今年度終了

参加者の声

小林友香さん(中3)

つどいの広場で子どもと関わるボランティア体験をしました。去年参加し、楽しい時間を過ごせたので今年も参加しました。今年も子どもたちと遊ぶことができて楽しかったです。2歳くらいの子とも遊ぶのには少し時間がかかったけれど、一緒に遊ぼうと手を引く張ってくれたり、笑ってくれたり嬉しかったです。また、3、4歳の子が一生懸命遊び方を考えたり、素直に喜んでいたり、姿が見えていると学ぶことができたと思います。ぜひまた参加したいと思います。



わくわくキッズランドでは、中・高生ボランティアが活躍しました

○おおふなとボランティアフェスティバルの開催

市内のボランティア団体が一堂に会し、市民が身近にボランティア活動に触れる機会を設け、新たなボランティア人材の開拓を目的に、10月6日(日)に岩手県立福祉の里センターを会場に開催しました。

みんな友達コンサートでは、祥風苑入居者のみなさん、おはなしころりんさん、大船渡中学校3学年のみなさん、おおふなトンによるステージ発表で会場が盛り上がりました。

ボランティア体験コーナーでは、キャップハンディや手話、点字体験のほか、音声訳の基礎などを楽しみながら学んでいました。子どもたちを集めながらボランティア活動を体験しました。

このボランティアフェスティバルは、市内のボランティア団体、関係団体のみなさんの力で運営されています。今年度で36回目を数える歴史あるこのイベントは、ボランティアの輪を広げ、次世代へつなげるために重要な役割を果たしています。



キャップハンディ体験で、視覚障がい者の理解を深めました

○「ちょボラ」のすすめ

「ボランティア」と聞くと、ボランティア団体に所属する、被災地へボランティア活動に行くなど、難しいもの、特別なものというイメージが先行されがちです。「ちょボラ」とは、「ちよつとしたボランティア」の略で、道に落ちていたゴミを拾う、街頭募金を見かけたら募金をする、使用済み切手や書き損じはがきを集めるなど、日常の中でできるちよつとしたボランティア活動のことです。ちょボラの活動が、誰もがお互いに支えあい、安心して暮らせるまちづくりにつながります。

○ボランティアを次世代につなぐために

平成29年に大船渡市が実施したアンケートによると、ボランティア活動に現在参加していると回答した割合が7.7%、条件が整えば参加してみたいと回答した割合が56.9%となっています。社会福祉協議会では、今後も現在活動しているボランティア団体の運営を支援しながら、新たにボランティアを始めてみたい人が活動に参加しやすい環境づくりや将来の福祉人材の育成に努めていきます。



～万が一に備えて～ ボランティア活動保険にご加入ください

ご加入プラン		Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	1,400万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各保険金額に同じ		
賠償責任の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)	300万円(限度額)		
保険料	基本タイプ	350円	510円	
	天災タイプ(基本タイプ+地震・噴火・津波)※	500円	710円	

3 ※天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

地域全体で子育て応援 つどいのひろば& わいわいステーションinキャッセン



ロデオヨガ教室ではロデオを使った運動方法をたくさん学ぶことができました

9月22日(日)に、親子でふれあい、楽しみながら遊べる・学べる場の提供や、人と人とのつながりを深めながら、子育て支援の機運を高めることを目的に、「つどいのひろば&わいわいステーションinキャッセン」を開催しました。このイベントは今年で3回目の開催で、平日保育園などに子どもを預けている家庭にも来場してもらえよう、今年の日曜日に開催しました。会場のキャッセン大船渡には、

開場と同時にたくさん親子連れが来場し、千年広場には大型エア遊具で元気に飛び跳ねる姿や、ロデオヨガ教室で楽しみながら体を動かす姿がみられ、子どもたちの元気な声が響き渡りました。お昼には「うにつち」や「おおふなトン」「ノンタン」が登場し、握手や写真撮影を求める子どもたちで大盛況でした。屋内ではリラクシンブースや物販のほか、赤ちゃんに背景や小物をつけて撮影する「おひるねアート」、フォトフレームのワークシヨップや似顔絵コーナーなどで終始賑わいました。来場者からは「子どもたちが楽しく遊んでいたので良かった」「また来年も開催してほしい」との声が聞かれました。共催のキャッセン大船渡・中村純代さんは「来場者約500人はキャッセンで開催した子ども向けイベントで最多だった。また開催する機会があれば、今年よりさらに良いイベントにしたい」と話してくれました。

手作りの傘立てで心をつなぐ みんなの支えあい傘



支えあい傘設置の様子

社会福祉協議会では、市内の公共施設を中心に支えあい傘を設置しています。今年度新たに市内4ヶ所へ設置する運びとなりました。この支えあい傘は予期せぬ雨に遭遇した時に利用し、元に戻してもらうことで「困ったときはお互いさま」の支えあいの気持ちを育んでいくことを目的としています。支えあい傘の傘立ては就労準

備支援事業の参加者が制作しました。この事業では、様々な理由で直ちに就労に結びつかない方々が、それぞれに沿ったプログラムを利用しながら就労に向けて取り組んでいます。今回企画した大工教室では、市内の工務店さんの協力を得て、大工の心構え、基礎を学びながら木材の切断、組み立て、塗装、文字の貼り付けの全行程を体験しました。

制作した参加者は「最初の木材への墨付け作業が難しく、のこぎりを使う時かなり緊張した。その分、出来上がった時はとても達成感があった。」と話してくれました。

傘立てが市民の皆様の役に立つことを願い頑張って作成しましたのでぜひご利用ください。

※設置場所

サン・リアシヨッピングセンター、JR盛駅、県立大船渡病院、おおふなぼーと、キャッセン大船渡、マイヤ大船渡店、大船渡市Y・Sセンター、大船渡市総合福祉センター、リアスホール



敬老会開催事業は「赤い羽根共同募金」の助成を受けて実施しています。



太鼓の音に合わせてコーラスを披露した後ノ入ホットの会のみなさん

今年も敬老の日を中心に、各地区や高齢者施設で敬老会が開催されました。今年度、市内で75歳以上を迎える人は約7,800人。社会福祉協議会では、高齢者福祉の向上と地域のコミュニティ作りを支援することを目的として、市内の地区公民館が開催する敬老会に助成金を交付しています。

赤崎地区敬老会は、9月16日(月)に大船渡アーバンで開催さ

敬老会で広がる地域の輪

敬老会開催事業



れ、対象者約170名と、来賓や各団体の関係者らが出席しました。対象者には、赤崎小学校の放課後児童クラブ・ここにこ浜っ子クラブの子どもたちから手作りのカードケースとメッセージカードのプレゼントがあり、「孫からの贈り物のようで嬉しい」と好評でした。

乾杯後は祝宴に移り、野の花会の踊りや、飛び入りで詩吟やカラオケも披露されました。敬老会の対象者でもある後ノ入ホットの会のみなさんは、リンゴの唄などコーラスを3曲披露しました。発表を終えた三浦さん(85)は「緊張したが、練習の成果を発揮できたと思う。敬老会のステージで、みんなで歌うことができ嬉しかった」とのこと。

参加者の金野さん(86)は「津波後は地域の交流が減り、歳をとって出歩くことも少なくなつたので、敬老会で顔を見せ合うのほども楽しい。年に2回ぐらいはこのような会があってもいいです」と話してくれました。

地域でサロンが広がっていくために

みんなで一緒に学ぼう会



大船渡市市民活動支援センターでは市民活動の企画運営や、資金調達、広報などについて学ぶ「みんなで一緒に学ぼう会」を毎月開催しています。

今回のテーマはサロン。市民活動支援センターに「サロンを始めたばかり」「サロンをやりたいと考えている」という相談が多かったことから9月27日(金)に開催されました。

参加者は9名。社会福祉協議



サロンの運営方法をみんなで学びました

会職員を講師に他のサロンではどのようなことを行っているか、助成金を申請・利用する際の注意点、サロン運営のポイントについて学びました。

サロンを今後始める人だけでなく、すでにサロンをしている人も、運営方法の再確認をしたり、今後の活動に活かせることを学びました。また、「サロンに使う物を借りられるのか、活動内容の相談を聞いてくれるのか」など、よりよい地域づくりのために多くの質問がありました。

参加した鎌田さん(40代)は、「無理なくサロンを続けるコツや、助成金の使い方など聞きたかったことが聞けてよかった。今度サロン活動を行うときは社協にサポートしてもらいたい」と話してくれました。

社会福祉協議会では、サロン運営方法や、サロン開催内容、助成金申請について相談を受け付けています。(27-0001)へお問い合わせ下さい。

障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は11月27日(水) (午前10時～正午)に開催します。

***岩手県福祉人材センター情報**

介護のしごと相談

キャリア支援員が福祉の職場に就職したい人などの相談に応じます。相談を希望する人は、下記の問い合わせまでご連絡下さい。

介護のしごと相談日程 (11月)

開催日	場所	時間
11日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前10時～午後4時
14日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
21日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
25日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前10時～午後4時
28日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本さん
電話 080-8201-0200

***就労準備支援事業情報**

フリースペース

就労準備支援事業では、仕事をしておらず、「働く」ことに不安や悩みを抱えている人を対象に、体力づくりの機会を設けています。参加を希望する人は事務局までお申込ください。

日時 毎週木曜日
午後1時30分～午後3時30分
場所 大船渡市Y・Sセンター
内容 卓球、スポーツ吹矢ほか
持ち物 上靴 (動きやすい服装で参加してください)

***大船渡市ボランティア活動センター情報**

ボランティア養成講座

ボランティア養成講座(手話教室、音声訳教室)を開催します。受講料は無料です。参加を希望する人は事務局までお申込みください。

【手話教室】

日時 11月6日～27日の毎週水曜日(全4回) 午後7時～午後9時
会場 シーパル大船渡小会議室A
申込方法 11月1日までに電話または来所で申込み

【音声訳教室】

日時 11月12日～26日の毎週火曜日(全3回) 午後7時～午後9時
会場 総合福祉センター図書室
申込方法 前日までに電話または来所で申込み

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。



申込・問い合わせ先 大船渡市社会福祉協議会
電話 0192(27)0001(代表)

***子育て支援事業情報**

**パパママ教室
inわいわいステーション**

出産を控えたパパ、ママ向けに、大船渡市健康推進課と共催でパパママ教室を開催します。妊娠中の悩みや不安を参加者同士で共有し、プレパパ、プレママの仲間づくりを試みませんか。

日時 11月17日(日)午前10時～正午
会場 大船渡市Y・Sセンター小会議室、遊戯室

内容 ◆大船渡市内の子育て支援についての説明
◆つどいの広場わいわいステーションの見学
◆妊娠、出産に係るテーマトーク

対象 出産を控えた夫婦10組程度
受講料 無料
申込方法 前日までに電話または来所で申込み

つどいの広場イベント

下記の日程でイベントを開催します。お気軽にお越しください。

場所 大船渡市Y・Sセンター

つどいの広場イベント日程 (11月)

開催日	内容	時間
7日(木)	はじめてさんの日 計測の日 (成長記録カード作り)	午前10時～午後4時 午前10時～正午 午後1時～午後4時
14日(木)	ぼうさいカフェ	午前10時～正午
21日(木)	ハローワーク 出張おしごと相談会 わいわいトーク	午前10時30分～正午 正午～午後1時
28日(木)	かすみんの栄養相談会	午前10時～正午

おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている方ならどなたでも利用できます。

日時 毎週火曜日午前10時～午後3時
場所 おおふなぼーと2階和室
※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達



温水プール臨時休業

プール水の入替作業及びプール塗装工事のため、10月22日(火)から11月10日(日)までの間、温水プールを休業します。なお、温水プール以外の施設(浴室、トレーニングルーム、遊戯室、会議室など)は通常通り利用できます。

*共同募金情報

災害義援金募集

大船渡市共同募金委員会では、「令和元年台風15号千葉県災害」により被災をした人への義援金を受け付けています。

なお、「令和元年8月佐賀県豪雨災害義援金」についても引き続き受け付けています。

受付場所 大船渡市Y・Sセンター

その他 救援物資・物品は取り扱いません。

ホームページで社協活動を日々更新中です。

<http://ofunato-shakyo.com>



*大船渡市声の福祉図書館情報

大船渡市声の福祉図書館 運営ボランティア養成講座

障がいや高齢により字を読むことが困難な人へ録音図書の貸出をしている声の福祉図書館の利用者への理解と情報保障の必要性を学ぶことを目的にボランティア養成講座を開催します。

日時 11月21日(木)

午後1時30分～午後3時

場所 大船渡市総合福祉センター休養室

内容 講話「視覚障がいの特性理解と情報保障について」

講師 社会福祉法人岩手県視覚障害者理事長 及川清隆氏

対象 視覚障がいや声の福祉図書館運営ボランティアに関心がある人15名程度

受講料 無料

申込方法 前日までに電話または来所で申込み

*大船渡市Y・Sセンター情報

筋力測定会

1分間で筋肉量、体脂肪量、水分量等がわかる筋力測定会を開催します。事前の申込は不要です。

日時 12月7日(土)

午前10時～正午(午前の部)

午後1時～午後3時(午後の部)

会場 大船渡市Y・Sセンター

参加費 無料

今月の表紙

伊東崇文さん
一美さん
瑠華ちゃん(5歳)
大和くん(2歳)
(赤崎町在住)

とにかく体を動かすことが大好きな瑠華ちゃんと大和くん。ダンスが好きな仲良し姉弟です。



- 11月号課題「散歩」
- 締め切り 11月5日(火)必着。1人1句。(自信作をひとつ)はがき使用。
- 投句先 立根町字下欠125-12「Y・Sセンター」内大船渡市社会福祉協議会「ふくし川柳」係
- その他 作品によっては、添削する場合があります。投句者の氏名にはフリガナをつけてください。

(評)物を書くことを生きてゆくための杖にするという。何とすてきな生き方だろう。私の余生もこうありたいと常に思っている。

《佳作》
ペン先を 命の限り 杖にする

盛・嶋村 良子

「ふくし川柳」
あがったね血圧計と消費税
津波後の笑い声だけ空元気
我が歩みモップ代わりの足袋の底
九十年眺めた海は壁の中

赤・志田 トミ
赤・佐々木 敦子
立・田沢 博昭
日・佐藤アサ子

課題「雑詠」 富谷英雄選

輝き人

の むら み ほ
野 村 美 保さん (83 歳)



三陸町越喜来在住。絵画サークル「三洋会」最年長会員。創設から35年間で百数点もの作品を描き、現在も年2~3作品を描き続けるなど精力的に活動する。

大好きな大船渡で 生き活きとこれからも

○母に褒められることが嬉しくて
小さい頃から絵を描くのが好きだったことが今の活動につながっているのだと思います。

いつも祖母から大きな紙を渡されて絵を描いて母の帰りを待っていました。母が帰ってきたその絵を見せると、とても褒めてくれて、それが嬉しくて一生懸命描いていたことを覚えています。

時には、国民学校（現在の小学校）に優秀な作品として展示されることもあり、どんどん絵を描くことが大好きになっていきました。

○大船渡市に移住して本格的に
結婚し、夫の仕事の関係で関東やアメリカに住んだ後、昭和51年に大船渡市に移住しました。絵画サークル「三洋会」には昭和58年、三洋会発足と同時に入会しました。

最初は水彩画を描いていましたが、その後、油絵や鉛筆画などにも挑戦し、他の会員と切磋琢磨してきました。

そこから35年。作品は優に100点を超え、毎年、展覧会に出品し入賞できるようになりました。時には、作品を売って欲しいと言われ、自分の作品が認められた嬉しさを感じます。

○大船渡をもっと描きたい

私が絵に描くのは、思い出の風景の1シーンです。夫や知人と巡った旅行の風景や、大船渡の風景を描く過程の中で、思い出を巡らせることができることが魅力です。

これからは、旅行の風景ではなく、移住して以来恵まれた自然や風景の虜になった大船渡を、自分の足でもっと歩いて、いろんな大船渡の姿を描いていきたいと思っています。

○生きがいを得るために

絵画の他にも詩吟や第九、詩のサークルにも所属しています。月の3分の1はサークル活動をしていますが、夫からも理解され、楽しい毎日を送っています。ここまで頑張れるのはなぜなのかと疑問に思う人もいると思います。頑張っているのではなく、自分を生き活きと表現できる場があることに幸せを感じ、今生きているんだという実感を。得たいからやっているんです。これからも、釣りと鮎物収集の趣味を持つ夫と共に、生きがいを持って楽しく毎日を過ごしていきたいです。



一番思い入れがある作品
「早朝のブルージュの街並み」